

支部だより

第59号

毎年この時期になると、桜の開花の知らせが聞こえてきます。今年は2月の中旬に、関東甲信地方を中心にこれまでの記録を上回る積雪にて、資材、部品の製造工場が倒壊し納期に影響が出る被害にも……。彼岸を迎えて、寒さも和らいで来ると思いきや、春分の日から東北、北海道地方に、爆弾低気圧の影響で3月では、観測史上記録的な積雪があり記憶に残りました。今年は、スポーツイベントの年で冬季ソチオリンピック、パラリンピックが終わり、6月にはワールドカップブラジル大会が開催される予定で、眠れない日々がまだまだ待っています。さて、昨年4月に本部では公益法人として再スタートしました。私たち加古川支部におきましても、**く加古川支部設立 50 周年記念事業**をスタートし、11月の式典に向かって、事業を計画し動き出したところです。会員皆様方のアイデアや提案を、活力ある行動に移し、広く関係各位及び公益事業にも力を入れ、意義ある記念事業で終える事を期待し、たくさんの参加と御協力を宜しくお願い致します。

(矢幡 稔)



第51回 加古川支部通常総会のご案内

- ◇ 平成 26 年度通常総会は、**4 月 26 日(土)** に開催されます。
場 所：兵庫県東播磨生活創造センター（東播磨県民局） Tel 079-421-1136
2 階会議室 A・B
総 会：17:45 より（受付 17:30～）
懇親会：19:00 頃より **加古川プラザホテル ポールルーム**（会費 3,500 円）
- ※ 返事は、同封のはがきに記入し、**平成 26 年 4 月 18 日(金)** までに必ず投函してください。
なお、出欠にかかわらず委任状は必ず返送して下さい。



新年会の報告

この度、新年会の記事を書くことになりました島崎です。
といいますのも、新年会のピンゴゲームにて強運を披露し、見事 2 位！
「記事を書きま賞」をいただいたからです。
新年会は、1 月 25 日、恒例のボーリング大会のあと、ながさわにて盛大に開催されました。
新年を祝い、今年も頑張ろうと意を新たにいたしました。



さて、2014 年は支部 50 周年の年。記念事業に向けての計画を実行委員会を設けて進めております。会員の皆様、一致団結して盛り上げていきましょう。
今年もよろしくお願いいたします。

(島崎 淳二)

■ 新春ボーリング大会の報告

去る1月25日(土) ニッケパークボウルにて毎年恒例の新春ボーリング大会が開催されました。幹事の私が優勝をしてしまい(申し訳ございません)、栄えある「記事を書きま賞」をいただきました。(因みに副賞はYES・NO 枕をいただきました)
事前に、賞品買出しのS君より情報は入ってて面白い賞やな~今年も盛り上がるな~って思っていました。まさか自分にこの栄えある賞を頂けるとは夢にも思ってませんでした。



優勝出来たのは一緒に戦ったメンバーのおかげかと思えます(めっちゃめっちゃベタ)

ということで、原稿を書かさせていただきます。

今年の参加メンバーは12名でした。去年は18名の参加でした。

参加人数が少なく少し寂しいので、来年は俺が優勝だー「記事を書きま賞」をゲットするぞーって方の参加をお待ちしております。(優勝者が賞を貰えるとは限りませんので…)

(長尾 淳一)

■ 2月16日開催の近江八幡、ヴォーリス建築見学会で思ったこと

前日のぐずついた天気も回復し、見学会の朝は爽やか冬の晴天から始まりました。そして見学地でも比叡おろしのない穏やかな冬の晴天が私たちを迎えてくれました。現地ではヴォーリス建築の保存再生運動を行っている「一粒の会」メンバーの太田さんの案内で、それぞれの施設関係者の歓迎と説明を受けながら、昭和6年に建てられた旧近江兄弟社幼稚園舎(現ハイド記念館)、一粒の会により再生修復された大正10年建築の旧八幡郵便局、大正2年建築のウォーター・ハウス邸記念館の順に外観だけでなく内部も見て回ることができました。そのあとのまちの歩きでは、100年くらい前のヴォーリス建築が多く現存し、ごく普通に使われているのを見て地域に愛されていることを実感しました。

ヴォーリス建築を見て感じたことは、まわりを圧する威厳や贅沢な装飾などは少なく、どちらかという空気取らない上質な普段着のような印象を受けます。ヴォーリスさんは、設計に際して住む人の健康と能率性を根本として、日当たりと風通し、動線を第一に平面計画をまとめ、外観はその当時アメリカで流行っていたコロニアルやスパニッシュ様式を採り入れています。100年も前の建物が今も残っているのは、その希少性からではなく本当に使いやすい上質な建物だからだと思います。

建築家ヴォーリスが活動の拠点とした近江八幡市は、江戸時代から三方良しで栄えた近江商人発祥の地です。三方良しとは相手良し、当方良し、世間よしのことで、そこに必要なものを運んで商売をする。その地域の為になることを考えて商売をすることです。健康で能率的な住宅を理想とし、それを実現したヴォーリスさんが近江八幡市に来たのは偶然ではなく、必然のような気がします。

人とのつながり、誰もが共感し、必要とされるものとは・・・

この見学会では <加古川支部設立50周年記念事業> のテーマであります「50年先まで伝え残したいもの」とは何か、地域や社会が培ってきたよりよい文化、風土を私たちは建築を介して何をどのように伝え残したらよいかを考える良い機会となりました。最後になりましたが、この見学会の実現にご尽力いただきました太田さんには、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

(小西 敏文)

青年部情報 (青年部会)

➤ 里山保全活動

2014年2月23日に、寺田池プレパークエコ小屋の点検と屋上緑化作業、掲示板の設置を行ってきました。竣工してから約一年半経過しましたが、状態もよく丁寧に使っていて安心いたしました。

屋上緑化作業では、園芸用の土を載せ、パンジーなどの花、芝桜、竜のひげなどを植えてきました。また、一部に（こっそり）ねぎとにらの種をまいてきました。

無事育って収穫ができるといいなあと思っていますが、水やりを天に任せてますので、うまくいきますかどうか。この日は、山本青年委員長が参加くださりお手伝いいただきました。じょうろに水を入れて水やりをする姿は和みませすね。



掲示板は直に穴を掘って砂利で締め固めました。この掲示板で地域の活動や私たちのイベントの案内など掲示していければいいなあと思っています。寺田池外周の土手はぐるっと散歩できるようになっておりますので、皆さんもぜひ散歩がてら小屋の様子を見ていってください。（鶴鷹 聖二）

■ 建築士試験“監理員”募集

二級・木造建築士試験及び一級建築士試験の立会いは建築士会員がおこなっています。加古川支部にも毎年、数名の要請があり、事前に参加希望者を把握したいと思います。参加希望の方は連絡下さい。

※ 連絡・申込書をご利用下さい。(先着順となります。締め切りは5月末)

カメラ雑感

昔は絵が好きだった。
写真なんか、とっていた。
親が退職記念に買った一眼レフは建物の記録用に利用した。
精細に写そうと手振れギリギリのスピードでできるだけ絞って使っていた。

結婚した時に妻が建物以外、人間が写っている写真がないと驚いた。
友達と姫路へ出かけた時、フリーマーケットで
コンパクトカメラ（コニカ C35EL）を 1000 円で買った。
フィルムを入れるとそれが嬉しくて機械式のカメラを物色しはじめた。
コンパクトカメラでもメーカーの個性があってコンタックスの色が好きになった。
色々試すのが楽しかったし、
別のカメラだともっとよく写るのではと手頃なものを探した。
フラッグシップには手が出なかったが、チープでも当たりはないかと模索した。

そのうち、デジタルの時代が来た。世の中はデジタルばかりになった。
画素数も増え、露出もスピードも自動になり、手振れ補正もついて、
シャッターを押すだけで良い写真が撮れる様になった。
しかし、今思い通りにならないフィルムカメラが面白いのだ。
失敗もするし、巻き上げ、露出合わせ、距離を合わせて
息を殺してシャッターを押すのが楽しいのだ。
思い込みもあると思うが、フィルムの色の方が豊で奥深い気もしている。
そんなカメラを持って知らない街をフラフラと歩いてスナップを撮るのが楽しいのだ。

さあ、春だ！外へ出かけよう。

（間嶋 総太郎）

E-メールで

新しい情報・大切な情報を送っています。

アドレスを事務局(永井支部長)に登録してください。
また登録された方で、情報メールが届いてない方は連絡してください。

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		
試験“監理員”参加希望	氏名	電話	

連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17
間嶋建築設計事務所内
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com
QR コード→



支部だより

第60号

梅雨真っ盛りのうっとうしい季節ですが、いかがお過ごしでしょうか？ 九州や関東では、土砂災害や浸水被害を受けている所も多い様です。われわれが住む播州地方は、まだ恵まれている方もありません。早く梅雨が明け、すかっとした夏が来てほしいものです。

さて、われわれ加古川支部の 50 周年事業も季節の移り変りの早さとともに、あとわずか 4 ヶ月あまりとなりました。理事会において、徳島県出身の建築家で四国八十八ヶ所を歩いて巡るお遍路さんの休憩仮眠の小屋造りにボランティアで取り組んでおられる事でマスコミにもよく取り上げられている 歌 一洋さんに、50 周年事業の一つとして 7 月に講演をしていただく事も決定しております。まさにわれわれの 50 周年事業のテーマである『50 年先まで伝え残したいもの』に通じる内容かと思えます。又式典の日時や場所等は決まりましたが、詳細な内容や進行方法、又周年事業としての見学会等は、担当理事たちで大急ぎで検討中です。

限られた日数で、限られた予算の中で 50 周年という大きな節目の記念事業を果のある物にする為に、ぜひとも今からでも会員の皆様のお力を拝借し、全員参加型の記念事業にしたいと思っておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

(副支部長 鬼一 恭士)

記念式典 平成 26 年 11 月 22 日 商工会議所

『へんろ小屋プロジェクト講演会』のご案内

---加古川支部設立 50 周年記念事業---

事業委員会

テーマ

「へんろ小屋プロジェクト」から 50 年先まで伝え残したいものを考える。

私たち兵庫県建築士会加古川支部は今年、設立 50 周年を迎えます。地元で活動する建築士の団体として、地域で育んできた伝統技術や遺産、守っていききたい風景や地域文化などを、この機会に今一度皆さんと共に考えて参りましょう。

講師は、2001 年から四国八十八ヶ所のお遍路道沿いに休憩小屋を建てる「へんろ小屋プロジェクト」に取り組んでおられる建築家の『歌 一洋』(うた いちよう)氏です。プロジェクトは、四国八十八ヶ所の霊場を巡る歩きお遍路さんの休憩小屋を建設するボランティア活動で、歌氏が建設地の風土や文化を取り入れた個性的な設計を行い、地元の方々が土地の提供や資金集め、労力奉仕などを分担して建設されるものです。これまでに 50 棟が建設されました。講演会では、活動の意義、地域やお接待文化への深い思いなどをご講演いただきます。

記

1. 日時 平成 26 年 7 月 26 日(土) 14:00~15:30
2. 場所 加古川商工会議所 4 階 大会議室 B
加古川市加古川町溝之口 527-5 (加古川駅南側)
3. 講師 建築家 歌 一洋 氏
4. 参加費 無 料
5. 定員 40 名 (先着順)
6. 申込み 平成 26 年 7 月 22 日 (火) までに、
支部長へ直接もしくは、別紙参加申込書により申込みをお願いします。



平成26年度第51回支部通常総会報告



4月26日(土)17時45分より東播磨生活創造センター(かこむ)において標記総会を開催いたしました。本会成立規定数の確認がされ、出席者26名、委任状提出者41名で合計67名となり、会員数122名の3分の1以上の出席で成立しております。総務委員長の進行により本年度は、宮宅勇一さんに議長をお願いし、各部会からの報告と来年度の計画案が発表され、出席会員による審議が始まりました。秋田副支部長からの会員動静及び事業報告を皮切りに、青年部事業報告を島崎青年部会長から、引き続き

増田会計委員より収支決算報告がなされました。会計決算報告に関しては、予め成田会計監査、五十嵐会計監査による監査を受け、承認の報告をいただきました。

今回は、公益法人となって1年余りが経過し、本格的な活動も始めたばかりで運営管理方法も対処しきれていない部分もあり、活動費の会計報告で一部不整合を指摘され、新年度に影響の無いように、また整理整合した会計管理ができるようにその修正に対し審議されました。また島崎青年部会長より活動内容について確認提案がなされ、公益法人の規定に準じて活動し、支部としても承認した上で、バックアップしていくことを確認しました。以上の内容で各事項が審議され、会員の皆様の承認をいただき無事総会を終了いたしました。

(副支部長 秋田 勝二)

懇親会の報告



昨年同様、総会後に場所を加古川プラザホテル1階のボールルームに移しての懇親会となりました。指定された席に着き、普段は話すことの少ない方々との会話を楽しみながら、ビュッフェスタイルの食事を楽しませていただきました。また青年部のビンゴゲームで盛り上がり、私は「記事を書きま賞」と景品のビールをいただきました。あまり懇親会等には参加していませんでしたが、これからは積極的に参加させていただきます。ありがとうございました。

(岡本 昌治)



“納涼懇親会”のご案内

いつも土会事業にご協力くださりましてありがとうございます。

今年も、支部会員の交流と親睦と英気を高めるため、納涼懇親会を企画致しました。今年のお店はバイキング形式で二時間食べ放題・飲み放題となっております。お忙しいとは思いますが、奮ってご参加下さいますようご案内します。

日時 平成26年8月1日(金)午後6時30分より2時間
なるべく時間までにお越し下さい。

場所 「マナフーズ ビレッジ」 ヤマトヤシキ7階
加古川駅前 加古川市加古川町溝之口 Tel (079) 454-1888

参加費 会員 ¥2,000.
非会員 ¥2,800.

募集〆切 平成26年7月26日(土)までに、別紙申込書により申し込みお願いいたします。
(当日の連絡先 厚生委員会 長尾携帯 090-9216-2695)

支部長へ直接お申し込みの場合
永井支部長連絡先
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com

QRコード→



青年部情報（青年部会）



平成 26 年度の青年部会の活動

総会も無事終わり、青年部会の活動も始動いたしております。

公益事業の 2 級建築士設計製図試験講習の運営協力、50 周年事業の青年部会担当部分が、大きな柱の事業としてあります。9 月には加古川楽市に今年も出店予定です。昨年度は 2 日目が台風の影響で中止になりましたが、今年度は晴天であってほしいなと思っております。

さて、現在青年部会ではパネル製作に取り掛かっております。周年事業の式典で使用するためです。その他の事業でも展示可能ですので PR できるように、この 10 年の活動をまとめておきたいなと思っております。

- 2 級建築士設計製図試験講習
- 里山保全活動
- あずま屋プロジェクト
- ワークハウスくれよん支援
- 保育園への出前木工教室
- 東播工業高校との協働事業
- 寺田池の道具倉庫制作

などが主な構成としてあがっております。

青年部会の太秦さんなどは、その当時、我々と共に活動した東播工業高校の学生で、当会の 2 級建築士製図講習に受講生として参加、見事合格し、この度、運営委員として共に活動を頑張ってくれております。ありがたいことです。今後ともこのようなつながりがたくさんできればいいなと感慨にふけておりますが、目の前のことも頑張っていきたいと思っております。

（島崎 淳二）

朝、家を出ると、
ごく最近までのウグイスは、上手にさえずるようになり、送ってくれます。

階段を下り、道路を越え、階段を上がると、駅までの道に続き、
母の生前と同じような年齢の夫人（90歳を超えておられる方）が、庭の草むしり。

野球少年（小学校の低学年 たぶんまだ二年生ぐらいかな？）が、バットの素振りをしています。
この頃は、バットに振り回されず、少しは、素振りがうまくなりました。

サッカー少年は、今日は道路で、ボールを蹴っています。
昨日は公園で蹴っていました。

公園では、大きな白い犬が、ボール遊び。
今日も何時もの電車に間に合いそうです。

ホームにつくと、何時もの人が、階段の下で、文庫本を読んでいます。
今日は昨日と違い、少し本が分厚くなっています。
前の本を読み終えたようです。

こんな出勤途上か、ほぼ毎日変わらずに迎えることができる自分を楽しみながら、
職場に向かっていきます。
少しずつ変わっていく日々を少し楽しめるようになった、
自分の落ち着きを楽しんでいます。
皆さんはいかがですか？

今日も、私の、穏やかな日々を感じさせてくれる、通勤途上です。

（城戸 史郎）

E-メールで

“tudoいメール” は 月に1回ペースで送っています。

アドレスを事務局(永井支部長)に登録してください。

届いてない方は連絡してください。

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		非会員 表記欄
	氏名	電話	
ヘンロ小屋プロジェクト 講演会			
納涼懇親会	氏名	電話	

連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(社) 兵庫県建築士会加古川支部事務局
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17
間嶋建築設計事務所内
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com
QR コード→



支部だより

第61号

秋晴れの候、会員の皆様方に於かれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は兵庫県建築士会加古川支部の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。台風の影響で鬱陶しい日々もありましたが、秋も本番となりさわやかな晴天が続く今日この頃となりました。

さて、予てよりお知らせしておりますように私たち建築士会加古川支部は、設立 50 周年を迎え記念式典を 11 月 22 日(土)に開催いたします。理事役員をはじめ各委員会メンバーはその準備に追われる日々が続いておりますが、すでに残り 1 か月あまりとなりました。記念事業は、去る 2 月の「ヴォーリズ建築見学会」を皮切りに研修会等を開催し、多数のご参加をいただいております。記念事業の核心たる式典には全会員にお集まりいただき、加古川支部のこれまでの 50 年を見届け、そしてテーマであるこれからの 50 年を創り、後世に“よきもの〈建築〉”を残していく本会であるよう一致団結を図りたいと思います。

終わりに、建築士会加古川支部へ引き続き倍旧のご厚情を賜りますよう切にお願い申し上げます。本誌にて詳細なご案内をいたしますので、ご多忙の中とは存じますが支部設立 50 周年式典へご出席いただきますようお願い申し上げます。

(副支部長 秋田克司)

「設立 50 周年記念式典」参加のお願い

下記の要領で開催致します。同封のハガキに、出欠を記入の上必ず投函ください。

記

日 時 : 平成 26 年 11 月 22 日 (土曜日) 午後 1 時 ~ 午後 6 時 30 分
(12 時 15 分から受付)

場 所 : 加古川商工会議所

式次第 : 記念式典 13:00 より (4 階 大会議室)
基調講演 14:15 より (4 階 大会議室)

『50 年先まで伝え残したいもの』

----- 地域の持続可能性に文化が果たす役割 -----

村上 裕道 氏 兵庫県教育委員会 事務局参事 (文化財担当)

懇親会 16:15 より (加古川プラザホテル 2 階 - 鹿児の間)
会費 ¥3,000.

閉会予定 18:30

式典では、永年会員、功労者の表彰も行いますので、
支部会員全員が参加してくださることを是非にお願いいたします。

(実行委員会)

『竜山石勉強会開催』のご案内

---加古川支部設立 50 周年記念事業---

事業委員会

「竜山石の歴史、利活用 から 50 年先まで伝え残したいものを考える。」

私たちは地元で活動する建築士の団体として、自己研鑽に努め、地域への貢献活動等を通じて建築士の社会的地位の向上を目指しております。支部設立 50 周年を迎え、私たちは「50 年先まで伝え残したいもの」をテーマに大切なものは何か、伝え残したいものは何かを地域の方々と共に考え、次代に引き継ぎたいと思います。

「竜山石」は、古墳時代から連綿と人々に利用され、愛されてきた地元の石材です。勉強会では、講師に高砂市教育委員会の清水氏をお招きして、竜山石に関する歴史的意義や伝統技術、建造物、守っていききたい地域文化などについてご講義いただきます。

つきましては、竜山石勉強会を下記により開催いたしますので、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

テーマ

「石の宝殿と竜山石について ～1700 年以上つづく石の文化の歴史～」

1. 日 時 平成 26 年 11 月 12 日(水) 19:00～20:30
2. 場 所 高砂市総合体育館 2 階 会議室 1
高砂市米田町島 526
3. 講 師 高砂市教育委員会 生涯学習課 文化財係 清水 一文氏
4. 参加費 無 料
5. 定 員 50 名(先着順)
6. 申込み 平成 26 年 11 月 5 日(水)までに、
支部長へ直接もしくは、別紙参加申込書により申込みをお願いします。



設立 50 周年記念誌-名簿用写真の募集について

(50 周年記念事業編集委員会)

記念誌に載せる士会員の名簿に顔写真の枠を設けます。40 周年記念誌でも顔写真(送付頂いた方)を名簿に添えており、会員相互の交流に役立っているという声を多く聞いています。つきまして、皆様の顔写真を下記要領にてご送付お願い致します。掲載は縦 18mm 程度で白黒の予定です。

送付要領：写真の場合 証明写真等を郵送(裏に必ず名前を書いてください)

JPG の場合 データサイズを縮小(320x240 程度)し E-mail に添付

送 付 先：〒675-0037 加古川市加古川町本町 21-17 吉備建築設計室 吉備 考司

E-mail cyi02225@nifty.com

※ 写真及びデータは返却できませんが、ご了承お願い致します。

※ 提出締め切りは、11 月末日です。

また、写真募集に合わせて、

『50 周年記念誌の“表紙のデザイン”を一緒に考えてくださる方を募集しています。』

50 周年記念事業編集委員長 吉備 考司
Tel・Fax 079-423-6350 までご連絡お願い致します。



『ヘンロ小屋プロジェクト講演会』の報告

今回の講演会の企画をするにあたり、講師の先生をどのような方にお願ひしようかという会議で鬼一副支部長から「大阪にヘンロ小屋をつくられている先生がいます」と紹介いただきました。「おっ！小屋かぁ。」小屋については、ちょっと特別な思いがあります。幼いころの秘密基地への憧れからはじまり、建築を学ぶようになったのちにも感動する風土に根差したプリミティブな建物、感じのいい小屋には、とっても好ましい感情が湧きます。加古川に帰って仕事を始めたころに見つけた小屋については、今でも「このような建物でありたい」という思いを持っています。是非講演していただきたいなあと、会議室の隅っこで、一委員の私は思っていました。そんなこんなで願ひが通じ！？歌一洋先生の講演会が実現いたしました。

さて、今回の講演会はそのような小屋を四国遍路 88 カ所（正確には 88+1 カ所）に建てようという「四国八十八カ所ヘンロ小屋プロジェクト」の話でした。「遍路」という四国独特の文化と「お接待」というおもてなしの心が、この小屋プロジェクトの柱になっているとのことで、建物とその後ろにある物語が重なり、惹き込まれるお話でした。

青年部会でも、いくつかの小屋プロジェクトを実践してきましたので、計画の調整や建築材料費の捻出、作業手間の提供等々たくさんの苦勞の一部は実感できますが、88 カ所（あるいは 89 カ所）なんていう途方もない数を継続されている活動は、信仰にも似た思いなのかもしれません。スペインのサグラダファミリア大聖堂の建築活動が重なりました。

歌先生は徳島県出身で実家には歩きお遍路さんがよく来ていたそうで、いつも親の「お接待」といって、家の前で拜んでくれたお遍路さんにはお米を差し上げる、あるいは果物やお金を差し上げるのを見て育ち、それが自分の原風景になっているといひます。

話される講演は「遍路文化の素晴らしさ」。設計という自分の仕事を活かして、ボランティアでお遍路さんのための休憩所を作ろうと思ひ立たれたそうです。1200 年にもなる遍路文化、そしてその中ではぐくまれた「お接待の心」。播磨地域にはお接待に似たこのような文化はあるのでしょうか。不勉強で思ひ当りませんが、建築にかかわる言葉では「結」や「普請」といった言葉が浮かびました。

加古川支部 50 周年に当たり、建築に関係の深い普請という言葉、普く請う（あまねくこう）相互扶助としての「普請」の心を継続し、建築士会の活動、及び、建築活動に取り組んできたいとあらためて思った講演会でした。

（島崎 淳二）



青年部情報（青年部会）



加古川楽市楽座

去る 9 月 13・14 日と第 12 回加古川楽市楽座が行われ、例年通り青年部は、金魚すくいとヨーヨー釣りで参加してまいりました。楽市の準備を運営委員会で話し合い、昨年は 2 日目の台風により中止になり金魚が、1000 匹余り一昨年は、2 日目の昼前からの大雨により来場者がほぼ無く 2 年連続で苦しい出の楽市を今年こそは、盛大に成功させようと意気込み当日に臨みました。その結果今年も、願ひが通じ 2 日間共晴天に恵まれ大盛況となりました。2 日間共青年部以外に東根・生月ファミリーがお手伝いをして頂き大勢のスタッフでお客様をお出迎え出来ました。両ファミリーの皆様御協力有難う御座いました。14 日の終了後、慰勞会を東加古川の旬彩ダイニング あし跡さんで行いみんな団欒のもと懇親を深める事が出来たと思ひます。2 日間を通じて思ったこと、**天候が全て！**（^o^）来年以降も楽市に出店し、建築士会を一般の方々に知って頂き地域貢献をしていきたいと思ひます。

（竹下 孝行）

10 年前、40 周年記念誌発刊に際し、表紙のデザインを考えてくれないかと依頼がありました。記念誌の言わば「顔」をデザインする重要な役割を担うことになってしまったと思いました。プレッシャーもありましたが光栄に感じる部分が勝り、頭を悩ませながらも一生懸命考えたことを、昨日のことのように思い出します。

周年事業は私自身初めての体験でした。関連行事を企画実行していく中で、建築士会の社会的役割や地域とのかかわりを再認識し、普段の活動の意義や目的を理解する非常に良い機会でした。ただただ年間行事をこなすことが、建築士会における私自身の役割になっていたようなところが、この頃から少しずつ変化してきたように思います。

加古川支部の設立は昭和 39 年 6 月。私の生まれるちょうど 1 年前のことです。自分と同じ時代を経て半世紀の今日をむかえることに、「五十にして天命を知る」のごとく、今後の建築士会も自身の歩みもしっかりとせねばと感じるところです。

諸先輩方から受け継いだこの組織を、また次の世代に受け継いでゆく。受け継いで行くべきは形ではなく、その精神であることを今一度ここに刻む 50 周年になればと思います。

(有田 和人)



設立 50 周年記念事業への会員協賛についてお願い

(50 周年記念事業広告委員長 鬼一 恭士)

平素は、何かと支部活動にご協力頂きありがとうございます。

お陰様をもちまして、当支部も昭和 39 年 6 月に設立以来日々研鑽を重ね、今年 50 周年を迎える事が出来ました。これもひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝しております。支部設立 50 周年という大きな区切りとして、また今後さらに公益法人として、社会的にも大きく飛躍させる意味からも、記念事業を行ったのち、記念誌の発行を考えており、皆様方のご支援をお願いする次第であります。つきましては、下記要領にて記念誌への広告掲載の依頼を申し上げますので、よろしくお取り計らい下さいます様お願い申し上げます。

記

掲載方法： 記念誌の広告欄への掲載

記念誌の発行： 発行部数： 約 400 部

対象者： 支部会員及び関係者

発行時期： 平成 27 年 3 月の予定

記念誌の大きさ： A4 版（白黒）

広告のサイズ： 1/4 ページ 10,000 円

1/8 ページ 5,000 円

※どちらか選択をお願いします。

※広告原稿は、PDF にてご送付下さい。

申込締切り： 平成 26 年 12 月 20 日（土）

申込連絡先： 鬼一 恭士（昭和住宅株式会社 稲美工場内）

Tel： 079-492-0136

Fax： 079-492-4598

E-mail： s.f-kiichi@showa-jutaku.co.jp

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		非会員 表記欄
	氏名	電話	
竜山石勉強会			

連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社) 兵庫県建築士会支部事務局
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17 間嶋建築設計事務所内
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com
QR コード→



青年部より忘年会のご案内

この度、恒例の青年部会忘年会を下記のとおり開催いたします。何かとご多忙中とは思いますが、奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

記

日 時 : 平成 26 年 11 月 30 日(日) PM6:30~

場 所 : 未定

*お酒を飲まれる方は、必ず電車・運転代行等をご利用下さい。

会 費 : 4,000 円 (実費)

*その他詳細については、後日参加者にご連絡致します。

尚、出欠の返信は準備の都合上、**11/15 (土)** までに下記の方へお願い致します。

出席の方のみの返信で結構です。

返信先：株式会社 タケフジ 竹下 孝行

FAX：079-421-4913

e-mail：takefuj@tea.ocn.ne.jp

忘 年 会 出 席 します

氏 名 _____

連絡先 TEL _____



納涼懇親会の報告



8月1日(金) ヤマトヤシキ7階「マナフーズ ビレッジ」は、お日柄のせいでしょうか大変な繁盛ぶりで、ウエイトレスの笑顔がこれまた可愛く華やかで一層の盛り上がりを見せていました。とは言え、士会員は普段通りの集まりぶり・・・みんな遅いなー、と幹事も諦め気味で店前のベンチに集まり世間話に盛り上がっていました。店内は屋上ピヤガーデンから逃れた団体とかやらでごった返しておりましたが、予約取っているしーで余裕の待合室でした。「そろそろ入るかー」の支部長のかけ声でいざ店内へ・・・。あれ？予約席はすでに団体で盛り上がりてるよー。どうもウエイトレスの可愛い子ちゃんが間違えて案内したらしいってかー。「ぶあっかもー」と心で怒って顔はにこにこ、この辺が我ら士会員の懐の大きさというか、××には弱～い習性。

そんな訳で、この度はみなさんお好きなお席でどうぞとなりまして、案外とこ粹な飲み会となりました。おかげさまで楽しい話や世間の情報も色々と聞け、有意義な時間を持てたことを喜んでいます。厚生委員のみなさま、幹事さま、閉店一杯までお世話頂き、有り難うございました。(吉備 考司)



支部だより

第62号

あけましておめでとうございます。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。会員みなさまにおかれましては、良き新しい年をお迎えのことと思います。加古川支部は、今年度、設立 50 周年を迎え記念事業を行っています（テーマ「50 年先まで伝え残したいもの」）。昨年 7 月には建築家の歌 一洋氏をお招きして、「ヘンロ小屋プロジェクトから 50 年先まで伝え残したいものを考える」というテーマでご講演していただきました。11 月には高砂市の教育委員会生涯学習課の清水一文氏により「亀山石の歴史、利活用」の講演をしていただきました。また、同じく 11 月には記念式典を開催し盛大に終えることができました。これも、ひとえに参加していただきました会員および来賓の方々のお蔭とお礼申し上げます。今年も 2 月の「ヘンロ小屋プロジェクト」追体験イン香川見学会、3 月の記念誌発行など事業が続きます。また、1 月には新年会、ボーリング大会も企画しております。これからも会員みなさんのご理解、ご協力、そしてより多くの方々のご参加をお願いいたします。それでは、今年も会員みなさまとそのご家族のご健康、ご多幸をご祈念申し上げ、平成 27 年新年号のはじめの挨拶といたします。

(支部長 永井 英三)



「新年会&新春ボーリング大会」のお知らせ

厚生委員会

恒例行事の支部新年会及びボーリング大会、初投げの後は情報交換で門出を祝いましょう。

日 時 : 平成 27 年 1 月 24 日 (土) 17:15 より 受付

17:30 ゲーム開始

19:00 開宴 (参加者集合次第)

表彰 ボーリング大会優勝者 参加者全員に豪華賞品あり

宴会余興 ビンゴゲーム これまた豪華景品多数

会 場 : 「ニッケパークボウル」 加古川市加古川町寺家町 269-1 tel (079) 427-8900

新年会 「ながさわ 加古川店」(ニッケパークボウル東隣) tel (079) 456-7775

参加費 : 新春ボーリング大会 1,000 円 (2 ゲーム貸し靴代含む) (非会員は 1,200 円)

新年会 3,000 円 (非会員は実費)

皆様のお越しをお待ちしておりますので奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

当日連絡先 長尾 淳一 090-9216-2695

平成 27 年 1 月 19 日(月)までに

支部長へ直接もしくは、別紙参加申込書により申込みをお願いします。

記念誌名簿用 写真 送付 がまだの方へ

至急、ご連絡頂ければ撮影にお宅までお伺い致します。

しかし、できれば顔写真を下記要領にてご送付お願い致します。

送付要領: 写真の場合 証明写真等を郵送 (裏に必ず名前を書いてください)

JPG の場合 データサイズを縮小 (320x240 程度) し E-mail に添付

送付先: 〒675-0037 加古川市加古川町本町 21-17 吉備建築設計室 吉備 考司

tell 079-423-6350 E-mail cyi02225@nifty.com

※ 写真及びデータは返却できませんが、ご了承お願い致します。



設立50周年式典の報告

11月22日(土)支部の設立50周年記念式典が、加古川商工会議所にて、加古川市長をはじめ2市2町、各種団体、本部会長、各支部長の御来賓をお迎えして、盛大に催すことができました。

御来賓の方々からお祝いの言葉を頂戴し、又、当支部の発展に尽力貢献された、功労者、永年会員、特別功労者の表彰がありました。その後、当支部の大会テーマ「50年先まで伝え残したいもの」を掲げ、基調講演として、兵庫県教育委員会事務局参事(文化財担当)の村上祐道先生に、「歴史文化が地域の持続性に果たす役割」の御講演をいただきました。日本の誇りと感じる項目は、「治安の良さ、美しい自然、優れた文化や芸術、長い歴史と伝統」と、上位4つが世論調査で、上げられるそうです。兵庫県では既に30万戸が空家となっており、その多くは50年を超える建物であり戦前の価値ある建物が次々と取り壊されています。これからも更に50万戸にのぼる空き家が発生するとありました。老朽した建物を、地域の魅力を伝える資産と見て、住民と一緒に取り組むヘリテージマネージャーの活動や、「歴史的文化遺産を活かしたまちづくり」リーダーの人材育成が必要との事。これからの地域社会の一員として、地域の人々と、自らが係わって行動することで、地域の財産を「50年先まで伝え残したいもの」に繋がる機会に触れたような感じがしました。最後に、懇親会が加古川プラザホテルで行われ、アトラクションで、スイングキャッツによる演奏と、ゲームにより楽しいひと時となりました。式典委員会の皆様ご苦労さまでした。まだまだ、記念事業の研修委員会による見学会や、編集委員会による記念誌発行、広告委員会の広告依頼等大変ご苦労掛けますが、よろしくお願い致します。

(副支部長 矢幡 稔)

『へんろ小屋プロジェクト』追体験イン香川見学会のご案内

---加古川支部設立50周年記念事業---

事業委員会

今回は記念事業の締めくくり、「へんろ小屋プロジェクト」追体験イン香川見学会を下記により開催いたします。見学会では、実際に札所から休憩所まで歩き、あわせて香川の近代建築の見学も行います。「へんろ小屋プロジェクト講演会」で得た地域への想いを現地で体験し、風土と建築、地域文化への貢献などについて考えたいと思います。会員の方はもちろん、多くの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 平成27年2月14日(土) *雨天決行
2. 集合場所等 加古川駅前北ロータリー 午前7時00分
3. 参加費 ① 会員及び会員の家族(他支部含む): 3,000円 (高校生以下=1,500円)
② 非会員等一般参加者 : 4,000円
* 会費には交通費、各施設入場料等が含まれています。

4. 見学行程

- 07:00 加古川駅前北ロータリー集合
07:10~09:30 移動(小型バス)⇒第二神明道路・神戸淡路鳴門自動車道・高松自動車道
09:30~12:00 77番札所(明王院・道隆寺)⇒3.3km 18号丸亀城乾休憩所
⇒0.5km 猪熊弦一郎現代美術館(丸亀駅前)
12:00~13:30 昼食(丸亀駅周辺で各自飲食)、自由散策
13:30~14:00 移動(小型バス)
14:00~14:45 79番札所(高照院・天皇寺)⇒1.0km 46号ピポット坂出休憩所(足湯休憩)
14:45~15:15 移動(小型バス)
15:15~16:15 瀬戸内海歴史民俗資料館
16:15~18:45 移動(小型バス)⇒高松自動車道・神戸淡路鳴門自動車道・第二神明道路
19:00 加古川駅前北ロータリー着 解散

※ 徒歩での移動が主となりますので、歩きやすい足元、服装でご参加ください。

5. 募集・参加申込み

- ① 募集定員 25名 ※ 定員になり次第、募集を終了いたします。
- ② 平成27年2月7日(土)までに、

支部長へ直接もしくは、別紙参加申込書により申込みをお願いします。



『竜山石勉強会開催』の報告

平成 26 年 11 月 12 (水) 19:00～、場所は高砂市総合体育館 2 階会議室にて「“竜山石の歴史、利活用”から 50 年先まで伝え残したいものを考える。」と題し、永井支部長の開会宣言から始まりました。

講師は高砂市教育委員会 生涯学習課 文化財係の清水一文さんです。講演のテーマは「石の宝殿と竜山石について ～1700 年以上つづく石の文化の歴史～」です。氏は「ガキの頃にこの地で、近くの兄ちゃんに連れて行ってもらって、基地を作ってよく遊んでいた」そうです。そして古墳時代から現在まで継続して取り続けているのは珍しく岩石の名称は①ガラス質結晶凝灰岩②火山礫凝灰岩(白色軽石)③火山礫凝灰岩(緑色軽石)の 3 種類だそうです。色相は青・黄・赤で曾根神社の外部石垣にひょうたん・俵等美しい色ずかひの模様が見られるそうです。花崗岩類は硬くてもろいのに対し、竜山石は硬く粘りがあるそうです。古くは「播磨国風土記」には 6m 四方の直方体の巨大な石造物が製作されています。制作の意図は不明ですが生石神社のご神体として祀られ兵庫県指定史跡でもあります。こんなに身近で古代からの大切な儀式に登場する石物が見られる事は私たちの地域としての誇りでもあります。古代から未来につながるロマンを今後とも建築士会として勉強してまいります。清水先生本当にお世話になりました。

(坂上 浩司)

青年部情報 (青年部会)



フォルザ・若い夢フェスティバルで木工教室開催



昨年 11 月 30 日に開催されたフォルザ・若い夢フェスティバルで木工教室を行いました。

加古川市青少年団体連絡協議会に所属していた団体「かこがわ冒険団」のブレパーク活動に協力していたことが縁で、お誘いいただき、以来、毎年出展しております。建築材の端材を使っての木工教室ですが、これをつくりなさいというようなことはせずに、自由に作ってもらっています。(ただし、見本はいくつか展示しています)



連携団体として、温故知新で住環境改善プロジェクト実行委員会のチームが場所の一部を使い、よしずの作成体験も行いました。こちらも、一つ作るのに時間がかかるのですが、皆さん根気よく作ってくれました。毎年大変好評をいただいております。いくらかは子どもたちにモノづくりの楽しさをお伝えできているのではないかと自負しています。

(島崎 淳二)

ええはなっちゃん

第 40 回

私はこの建築士会に入会させてもらい、はや数年、加古川支部に籍を置いてもらっています。会にはいつ協力させていただいたといえ、加古川市主催の建築相談会や建築士試験の監理員などです。楽しみにしているのが会員相互による親睦会です。親睦会は日頃の思いを聞いたりするには絶好の時間です。予定さえなければ、できる限り参加させていただいています。事務所協会さんと違って、建築系の仕事には違いますがその中でもさまざまな仕事をみなさんされています。設計事務所系、工務店建設業系、行政研究系などです。同じ業種でも知らないことばかりで、いろんな勉強になります。またいろんな方と知り合えます。楽しいです。

私は、建築だけじゃなくいろんな方と出会うことが好きです。いいかっこいいですが、自分みがきをすることでスキルアップできればとつねづね思っています。建築士会に籍をおいてらっしゃるみなさま、土会や支部ではいろんな企画をしています。あまりこういう企画にご参加されていない皆様、楽しいですので是非遠慮せずぜひご参加ください。私を探してください。もしどちらさまも初めてお話しできる機会があれば、私は幸せです。

(林 友宏)

非常に個人的な話ですが、一昨年(2019年)の4月に転勤をしました。8年間務めた県立東播工業高校から、県内最東端の県立尼崎工業高校への異動でした。

一年半以上も経ち、今では随分と慣れてきましたが、当初は不慣れな事ばかりでした。まず、満員電車で揺られての毎日の通勤。それに伴い起床時間も早まり、毎日5:00起床です。今では習慣化しましたが、生活のリズムをつくるのに苦労しました。勤務先では、職場に慣れるのにまた一苦労。面識のない職場の同僚ばかり。親切な方々ばかりでよかったのですが、それでも、こちらがやたらと気を遣いすぎ、気疲れとそれに伴うストレスで疲労困憊でした。あとはこれが一番大きかったのかもしれない。同じ兵庫県内でも当然存在する、地域性の違い。そしてそれに対する戸惑い。何がどうということはないのですが、「気質」「習慣」「文化」「方言」等々…。「郷に入れば郷に従え」という言葉がある通り、自分から周囲に合わせていくところと、自分が今まで培ってきた「当たり前」が相容れないときは、苦労することも多くありました。

しかし、環境が変わるということは、決して苦労ばかりではありません。そこでは新しい出会いがあります。人との出会い、物との出会い、文化との出会い、風景との出会い…。様々なものとの出会いがあります。そしてそこで出会ったもの全てが、新しい私自信を形成し、成長させる糧となります。そういう意味でこの転勤は、私自信の人生をより豊かにするべき大きな転機の一つではないかと受け止めています。大きな転機となったと、後に思えるように日々精進したいと思っています。

(西本 和樹)

新入会員の挨拶

☆ 稲田 常利と申します。

県立兵庫工業高校を卒業して45年、年金がもらえる年齢になっています。西宮の(株)新井組に30数年在籍し、西播磨の先端技術支援センター・垂水の(学)愛徳学園・三木の震動台油圧源棟等現場管理を手がけてきました。工期の少ない工事・コンクリート打ち放し仕上げの建物が得意でした。数年前に近畿菱重興産(株)に移籍し、昨年9月、家庭の事情で退職しました。

【ゆとりを持ってより速く】をモットーに以前のお客様・協力業者の皆様・困っている方の相談に対応し、少しでも役にたてればと考えています。1月に建築士事務所を開設予定です。よろしくお願いいたします。

☆ はじめまして、八朔 一真と申します。

私は、昨年(2019年)の11月に建築士会・加古川支部に入会させていただきました。私は、東播工業高校を卒業後、木造大工として、(株)住友林業ホームエンジニアリングに勤務していました。3年前に退職し、父の経営する八朔建築で勤務しております。父(大工)と母・弟・嫁(事務)、従業員(大工)2名、パート1名で小さい会社ではありますが、頑張っています。私のところは若い世代が多く、わからないこともたくさんあります。建築士会ではたくさんの方のことを学びたいと思っています。できる限り行事ごとにも参加していきたいと思っていますので、これからよろしくお願いいたします。

この連絡・参加申込書は FAX か E-メールで送付してください。（郵便も可）

参加申込書

記入欄が不足する場合は、複写してご使用下さい。

事業名	参加者 氏名 (連絡先電話)		非会員 表記欄
	氏名	電話	
『ヘンロ小屋プロジェクト』 追体験イン香川見学会			

連絡票

住 所 連 絡 先 E - mail	※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。
事務局への 連絡事項	

* 個人情報保護法に基づき、各会員の資料として管理致します。

(公社) 兵庫県建築士会支部事務局
〒675-0017 加古川市野口町良野 418-17 間嶋建築設計事務所内
TEL 079-422-4130 FAX 079-423-4130

永井支部長連絡先
090-5240-6230

eiz-nagai@nifty.com
QR コード→

